

第2期奈良市教育振興基本計画の延長について

1. 第2期奈良市教育振興基本計画について

- ・計画期間 令和3年度～令和7年度
- ・目標 「生涯にわたり学び続け、他者と協働して未来を切り開く人間の育成」
- ・目指す子ども像 「みずから学ぶ子」「とことん学ぶ子」「つながり学ぶ子」

2. 第2期奈良市教育振興基本計画延長期間

- ・現在の令和7年度末を1年間延長し、令和8年度末までとする。

3. 計画延長の理由

これまで、奈良市教育振興基本計画改正に向け、定例教育委員会会議の場において、「次期奈良市教育振興基本計画について」「奈良市の目指す学びの変革」「奈良市の目指す教育について」の議論を重ねてきた。

国においても、学習指導要領の改訂に向けた議論が行われているところである。

国の議論の大きなポイントの一つは「学校」と「個々の児童生徒」を組み合わせ、「柔軟な教育課程編成」を促進することである。このことについては、第2期奈良市教育振興基本計画のもと、「授業時数特例校制度」の導入や「公設フリースクール」の導入など、本市では先進的に取り組んでいる。

もう一つのポイントである「未知の状況にも対応できる力」「生きて働く知識技能」についても、本市では「探究活動」や「Arts STEM教育」、「ICTを活用した学び」など、教育活動の充実に取り組んでいる。

本市においては、制度面や設備面、環境づくりについては整いつつある一方で、内容の充実を図っていくことが今後の課題である。

また、奈良市の市政の根幹となる、まちづくりの目標を定めた「奈良市第5次総合計画」は後期推進方針の令和9年度施行に向けた検討の中で、教育分野についても議論されることとなっている。第5次総合計画後期推進方針と計画期間を揃え整合性を図り、首長と教育委員会が施策の方向性を合わせることで、本市の教育行政をより効果的に、推進力を持って進めていくことが可能となる。

これらのことから、第2期奈良市教育振興基本計画を1年間延長し、これまでの取組内容をより充実したものとするとともに、国の動向を注視しながら、本市として一体的に施策を進めていくものである。